

茨城県内主要企業の

# 経営動向調査結果

2020年1~3月期

本調査は、茨城県内企業の経営動向を明らかにするため、四半期毎に アンケート方式(記名式)により実施しているものです。

- ●調査項目/景況、生産・売上、在庫、収益、設備投資、資金繰り等
- ●対象期間/2020年1~3月実績、2020年4~6月予測
- ●対象企業/県内主要企業492社

うち、回答社数 263社(製造業 125社、非製造業 138社)

〈2020年4月〉

株式会社 常陽産業研究所 地域研究部 地域研究センター

## 目 次

1.	概況	1
2.	地域別の動向	2
3.	国内景気の動向	2
4.	自社業況	3
5.	企業経営	4
(1)	売上・出荷動向	
(2)	生産高、受注高	5
(3)	在庫水準	5
(4)	仕入・販売価格	6
(5)	経常利益	7
(6)	経営上の問題点	8
6.	設備投資	9
(1)	2019年10月~2020年 3 月の実績	9
(2)	2020年 4 ~ 9 月の計画	9
7.	雇用	10
8.	企業金融	10
(1)	資金繰り状況	10
(2)		
(3)	資金調達	11
業	種・規模別回答社数	12

#### ※(1) DIはDiffusion Indexの略

(2) DIの単位は%ポイント。但し、本紙上では、便宜的にDIの単位を「%」、 DIの変化幅を「ポイント」と表記する。

## 1. 概況 自社業況総合判断 DI は全産業で前期比 11 ポイント低下 ~新型コロナウイルスの影響により県内企業の景況感は大きく悪化

#### 今回調査の概要

県内企業の景況感をあらわす自社業況総合判断 DI は、全産業ベースで「悪化」超 42.6% と、前期 (2019 年 10 ~ 12 月期) 調査の同 31.4%から 11 ポイント低下した。業種別にみると、製造業は「悪化」超 43.2%と前期から 6 ポイント、非製造業は同 42.0%と前期から 15 ポイント低下した。前期と同様に、米中貿易摩擦の影響による生産活動の低迷や消費税率引き上げ後の消費の反動減に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による日本国内全体の景気マインドの急激な悪化や、サプライチェーンの寸断による生産活動の落ち込み、外出控え等による売上の減少によって、県内企業の景況感は一段と悪化した。

国内景気判断 DI は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、国内景気全体への不透明感が非常に高まり、全産業で「悪化」超 61.1% と前期比 34 ポイント低下した。

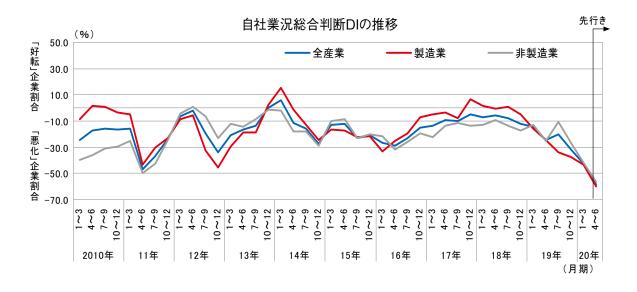
また、業績面をみると、製造業の生産判断 DI が前期比 13 ポイント低下し、非製造業の売上・出荷判断 DI が前期比 9 ポイント低下するなど、製造業、非製造業ともに悪化している。 先行き (2020 年 4 ~ 6 月期) をみると、全産業の自社業況総合判断 DI は今期からさらに 16 ポイント、業種別にみても、製造業で前期比 17 ポイント、非製造業で 14 ポイント低下する見通しである。県内企業からは、「先行きの見通しは立たない」という意見が多く、今後は、刻々と変化する新型コロナウイルスの感染拡大による県内企業への影響について注視する必要がある。

#### 自社業況総合判断 DI の推移

(%ポイント)

	19年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	20年 1~3月	前回予測	先行き 4 ~ 6月
全産業	<b>▲</b> 14.1	<b>▲</b> 24.6	▲ 20.1	▲ 31.4	<b>▲</b> 42.6	▲ 23.2	▲ 58.1
製造業	<b>▲</b> 16.0	▲ 24.1	▲ 33.7	▲ 37.4	<b>▲</b> 43.2	<b>▲</b> 27.9	▲ 59.9
非製造業	<b>▲</b> 12.7	▲ 25.0	▲ 10.4	▲ 26.7	<b>▲</b> 42.0	<b>▲</b> 19.6	▲ 56.4

※自社業況総合判断 DI: 「好転 | 回答企業割合 - 「悪化 | 回答企業割合



#### 2. 地域別の動向 県北・県央地域と県南地域で DI が低下

#### 〈県北・県央地域〉

全産業の自社業況総合判断 DI は「悪化」超 43.3%と前期比 16 ポイント低下した。業種別にみると、製造業は前期比 19 ポイント、非製造業は同 14 ポイント低下した。

#### 〈県南地域〉

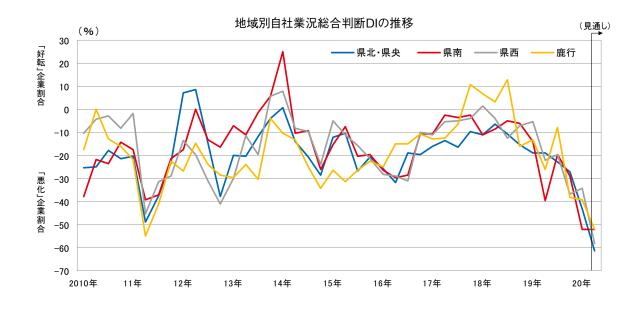
全産業の自社業況総合判断 DI は「悪化」超 52.0%と前期比 23 ポイント低下した。業種別にみると、製造業は前期比 8 ポイント、非製造業は同 33 ポイント低下した。

#### 〈県西地域〉

全産業の自社業況総合判断 DI は「悪化」超 34.4% と前期比5ポイント上昇した。業種別にみると、製造業は前期比 16 ポイント上昇した一方、非製造業は同8 ポイント低下した。

#### 〈鹿行地域〉

全産業の自社業況総合判断 DI は「悪化」超 39.2%と前期比概ね横這いとなった。業種別にみると、製造業は前期比概ね横這い、非製造業は横這いとなった。



## 3. 国内景気の動向 全産業で前期比 34 ポイント低下

全産業の国内景気判断 DI は「悪化」超 61.1%と前期比 34 ポイント低下した。業種別にみると、製造業は前期比 28 ポイント、非製造業は同 39 ポイント低下した。低下の背景には、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、国内景気全体への不透明感が非常に高まっていることがある。

国内景気判断 DI の推移

(前年同期比・%ポイント)

			2018		20	19		20	20
			10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期予測
全	産	業	▲ 0.6	▲ 10.9	▲ 22,2	<b>▲</b> 19.4	<b>▲</b> 27.5	<b>▲</b> 61.1	<b>▲</b> 75.6
製	造	業	2.8	<b>▲</b> 12.4	▲ 25.2	<b>▲</b> 29.1	▲ 29.9	▲ 58.1	<b>▲</b> 76.0
非	製造	業	▲ 3.2	▲ 9.9	<b>▲</b> 19.7	<b>▲</b> 12.5	▲ 25.5	<b>▲</b> 64.0	<b>▲</b> 75.1

※国内景気判断 DI:「好転」回答企業割合-「悪化」回答企業割合

#### **4. 自社業況** 製造業は6ポイント、非製造業は15ポイント低下

自社業況総合判断 DI は全産業ベースで「悪化」超 42.6% と、前期(2019 年  $10 \sim 12$  月期)調査の同 31.4% から 11 ポイント低下した。業種別にみると、製造業は前期から 6 ポイント、非製造業は 15 ポイント低下した。

製造業では、加工業種とその他業種で DI が低下した。米中貿易摩擦等による海外経済の低迷に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うサプライチェーンの寸断等から、生産活動が一段と減速した。製造業からは、「新型コロナの影響で3月の受注がゼロになった」(精密部品製造業)や「取引先企業の工場が生産停止となり、影響が大きい」(自動車部品製造業)、「中国からの部品調達が困難になっている」(建設機械関連企業)など、新型コロナウイルスの影響による生産量の減少やサプライチェーン寸断を指摘する声が多く聞かれる。

一方、非製造業では、小売業や運輸・倉庫業、サービス業の自社業況総合判断 DI が前期から 20 ポイント以上低下している。その要因は、消費税率引き上げ後の消費の反動減に加えて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛等により客数が減少しているためだとみられる。非製造業からは、「新型コロナウイルスの感染拡大の影響があり、集客・売上が苦戦した」(小売業) や、「3 月以降の集客が大きく減少した」(宿泊業)、「歓送迎会の予約が軒並みキャンセルとなった」(飲食業)といった声が多く挙がっている。

先行き(2020年4~6月期)をみると、全産業の自社業況総合判断 DI は今期から 16 ポイント、業種別にみても、製造業で前期比 17 ポイント、非製造業で 14 ポイント低下する見通しである。新型コロナウイルス感染は本調査を実施した 3 月中旬と比べて拡大しており、今後は、県内企業への影響についてこれまで以上に注視する必要がある。

#### 自社業況総合判断 DI の推移

(前年同期比・%ポイント)

				2018		20	19		20	20
				10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期予測
全	Ē	産	業	<b>▲</b> 11.9	<b>▲</b> 14.1	▲ 24.6	▲ 20.1	▲ 31.4	<b>▲</b> 42.6	▲ 58.1
製	į	<b>生</b>	業	<b>▲</b> 4.8	<b>▲</b> 16.0	▲ 24.1	<b>▲</b> 33.7	▲ 37.4	<b>▲</b> 43.2	▲ 59.9
素	材	業	種	<b>▲</b> 4.4	<b>▲</b> 19.1	▲ 36.4	<b>▲</b> 46.1	▲ 52.9	<b>▲</b> 40.0	<b>▲</b> 70.0
加	工	業	種	4.7	▲ 20.0	▲ 25.5	<b>▲</b> 35.1	<b>▲</b> 34.6	▲ 39.0	<b>▲</b> 49.1
そ	0)	他 業	美 種	<b>▲</b> 15.5	<b>▲</b> 10.7	<b>▲</b> 19.6	<b>▲</b> 27.9	▲ 34.2	▲ 50.0	▲ 68.9
非	製	造	業	<b>▲</b> 17.4	<b>▲</b> 12.7	▲ 25.0	<b>▲</b> 10.4	▲ 26.7	<b>▲</b> 42.0	▲ 56.4
建			設	▲ 10.0	<b>▲</b> 7.0	▲ 33.3	11.5	<b>▲</b> 3.7	▲ 3.2	▲ 38.7
卸			売	▲ 18.0	<b>▲</b> 17.5	▲ 22.2	<b>▲</b> 16.0	<b>▲</b> 42.3	<b>▲</b> 51.9	<b>▲</b> 74.1
小			売	<b>▲</b> 13.9	<b>▲</b> 17.5	▲ 18.2	<b>▲</b> 26.3	<b>▲</b> 40.0	<b>▲</b> 63.1	<b>▲</b> 72.2
運	輸	· 倉	庫	<b>▲</b> 5.3	<b>▲</b> 5.9	<b>▲</b> 41.7	<b>▲</b> 16.7	<b>▲</b> 25.0	<b>▲</b> 46.2	▲ 38.5
サ	_	ビ	ス	▲ 28.6	<b>▲</b> 12.5	▲ 20.8	<b>▲</b> 14.0	<b>▲</b> 26.1	<b>▲</b> 52.1	▲ 56.8

※自社業況総合判断 DI:「好転」回答企業割合-「悪化」回答企業割合

#### 企業規模別自社業況総合判断 DI の推移

(前年同期比・%ポイント)

<b>学</b>	2018		20	19		20	20
(大学員数) (大学員数) (大学員数) (大学員数) (大学員数) (大学員) (大学員)	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期予測
30 人未満	▲ 20.0	<b>▲</b> 13.5	▲ 24.1	<b>▲</b> 10.5	▲ 21.5	▲ 34.9	▲ 59.1
30~99人	<b>▲</b> 6.2	<b>▲</b> 16.4	▲ 28.4	<b>▲</b> 26.7	<b>▲</b> 41.2	<b>▲</b> 47.8	▲ 59.5
100~299人	<b>▲</b> 11.0	<b>▲</b> 7.8	▲ 27.0	<b>▲</b> 29.7	▲ 33.3	<b>▲</b> 37.5	<b>▲</b> 49.0
300 人以上	<b>▲</b> 2.6	<b>▲</b> 17.9	<b>▲</b> 15.4	<b>▲</b> 16.1	▲ 31.8	<b>▲</b> 55.9	<b>▲</b> 63.6

※自社業況総合判断 DI:「良くなった」 - 「悪くなった」

#### 5. 企業経営

項目別判断 DI 2019 年 10-12 月期→ 2020 年 1-3 月期

(前年同期比・%ポイント)

	売上・	出荷	生	産	受	注	在	庫	仕 入	価 格	販 売	価 格	経常	利 益
	10-12 月期	1-3月期	10-12 月期	1-3 月期	10-12 月期	1-3 月期	10-12 月期	1-3 月期	10-12 月期	1-3 月期	10-12 月期	1-3 月期	10-12 月期	1-3 月期
全 産 業	▲ 25.0	<b>▲</b> 35.0							21.6	9.1	0.9	<b>▲</b> 5.5	<b>▲</b> 33.3	▲ 39.9
製 造 業	▲ 22.4	<b>▲</b> 34.1	▲ 20.6	<b>▲</b> 33.6	<b>▲</b> 23.4	▲ 36.6	14.5	10.9	11.3	4.9	<b>▲</b> 4.7	<b>▲</b> 7.3	<b>▲</b> 34.3	<b>▲</b> 44.7
素材業種	▲ 35.3	<b>▲</b> 50.0	<b>▲</b> 35.3	<b>▲</b> 45.0	<b>▲</b> 41.2	▲ 55.0	11.8	5.0	<b>▲</b> 17.6	▲ 20.0	<b>▲</b> 17.6	▲ 25.0	▲ 35.3	▲ 60.0
加工業種	▲ 20.0	<b>▲</b> 29.8	<b>▲</b> 18.2	<b>▲</b> 30.5	<b>▲</b> 18.2	▲ 31.0	17.3	15.8	14.8	13.8	1.9	0.0	▲ 30.2	<b>▲</b> 42.3
その他業種	▲ 20.0	<b>▲</b> 32.6	<b>▲</b> 17.1	<b>▲</b> 32.6	<b>▲</b> 22.9	<b>▲</b> 35.5	11.4	6.9	19.4	4.5	<b>▲</b> 8.3	▲ 8.9	<b>4</b> 0.0	<b>▲</b> 40.9
非 製 造 業	▲ 27.2	<b>▲</b> 35.8							30.2	13.1	5.5	▲ 3.9	▲ 32.6	<b>▲</b> 35.5
建設	<b>▲</b> 4.2	<b>▲</b> 10.3							48.2	19.3	7.7	0.0	3.7	▲ 16.1
卸売	<b>▲</b> 46.2	<b>▲</b> 50.0							34.6	7.7	23.1	<b>▲</b> 7.7	<b>▲</b> 46.2	<b>▲</b> 42.3
小 売	<b>▲</b> 42.9	<b>▲</b> 57.9							38.1	26.3	<b>▲</b> 4.7	<b>▲</b> 5.3	<b>▲</b> 57.2	▲ 64.7
運輸・倉庫	▲ 31.2	▲ 50.0							14.3	<b>▲</b> 9.1	7.2	▲ 9.1	▲ 66.7	▲ 35.7
サービス	▲ 19.1	<b>▲</b> 31.1							17.1	11.6	<b>▲</b> 2.4	<b>▲</b> 2.5	▲ 23.9	▲ 34.0

※仕入価格、販売価格は前期比

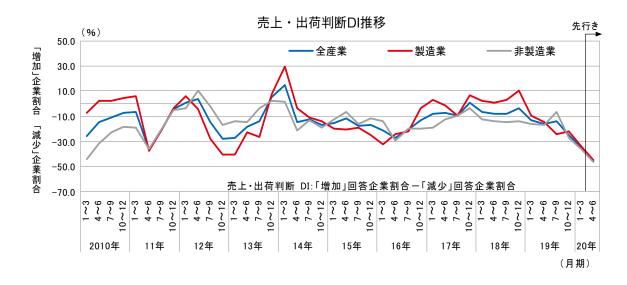
#### (1) 売上・出荷動向〜製造業で前期比 12 ポイント、非製造業は 9 ポイント低下

売上・出荷判断 DI は全産業で前期比 10 ポイント低下した(2019 年 10 ~ 12 月期「減少」超 25.0%→2020 年 1 ~ 3 月期同 35.0%)。

業種別にみると、製造業の DI は前期比 12 ポイント低下した(2019 年 10 ~ 12 月期「減少」 超 22.4%→ 2020 年 1 ~ 3 月期同 34.1%)。

一方、非製造業の DI も前期比 9 ポイント低下した (2019 年 10 ~ 12 月期「減少」超 27.2% → 2020 年 1 ~ 3 月期同 35.8%)。「新型コロナウイルスによるすごもり消費から売上が伸長した」といった声が一部小売店からあった一方、多くの小売業やサービス業からは、「新型コロナウイルスの影響で顧客が外出を控えている」といった声が聞かれ、売上や客数が減少している様子が窺える。

先行き(2020 年 4 ~ 6 月期)は、製造業、非製造業ともに今期から 11 ポイント低下する見通しとなっている。

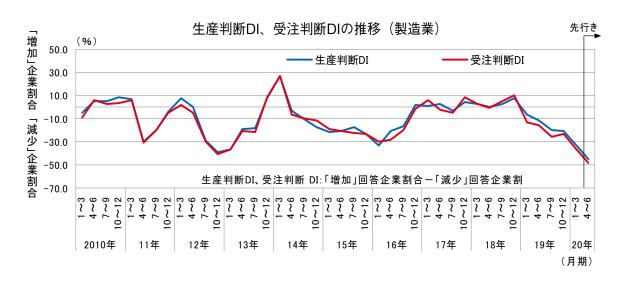


#### (2) 生産高、受注高~生産判断 DI、受注判断 DI ともに前期比 13 ポイント低下

製造業の生産判断 DI は前期比 13 ポイント低下した(2019 年  $10 \sim 12$  月期「減少」超 20.6%  $\rightarrow$  2020 年  $1 \sim 3$  月期同 33.6%)。製造業からは、「今年に入り厳しくなり、さらに新型コロナの影響で厳しい」や「新型コロナウイルスの影響で悪化した」といった声が多く聞かれる。

製造業の受注判断 DI も前期比 13 ポイント低下した (2019 年 10 ~ 12 月期「減少」超 23.4% → 2020 年 1 ~ 3 月期同 36.6%)。

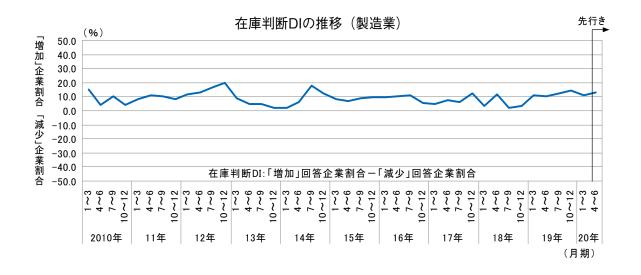
先行き(2020年4~6月期)をみると、生産判断 DI、受注判断 DI とも今期から 12 ポイント 低下する見通しである。企業からは、「新型コロナウイルスの影響が未知数」や「4~6月は収 東状況に予断を許さず、かなり厳しい」といった意見が多く挙がっている。



#### (3) 在庫水準~前期比4ポイント低下

製造業の在庫判断 DI は前期比 4 ポイント低下した (2019 年 10 ~ 12 月期「過剰」超 14.5% → 2020 年 1 ~ 3 月期同 10.9%)。

先行き(2020年4~6月期)をみると、概ね横這いとなる見通しである。



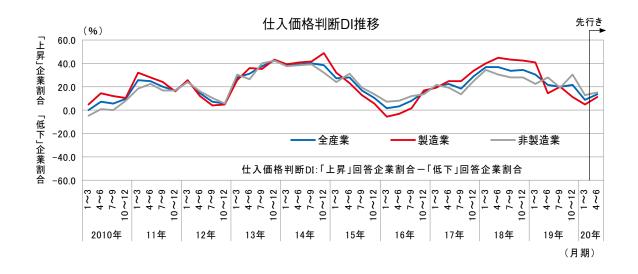
#### (4) 仕入・販売価格〜仕入価格 DI は前期比 13 ポイント低下、販売価格 DI は 6 ポイント低下 〈仕入価格〉

仕入価格判断 DI は全産業で前期比 13 ポイント低下した (2019 年 10 ~ 12 月期「上昇」超 21.6%→ 2020 年 1 ~ 3 月期同 9.1%)。

業種別にみると、製造業の DI は前期比 6 ポイント低下した(2019 年  $10 \sim 12$  月期「上昇」超  $11.3\% \rightarrow 2020$  年  $1 \sim 3$  月期同 4.9%)。

一方、非製造業の DI は前期比 17 ポイント低下した (2019 年 10 ~ 12 月期「上昇」超 30.2% → 2020 年 1 ~ 3 月期同 13.1%)。

先行き(2020 年 4 ~ 6 月期)は、製造業は今期から 7 ポイント上昇、非製造業は概ね横這いとなる見通しとなっている。



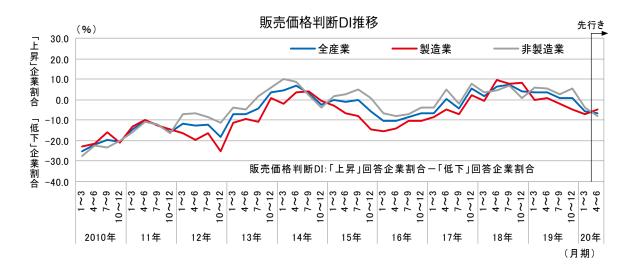
#### 〈販売価格〉

販売価格判断 DI は全産業で前期比 6 ポイント低下した (2019 年 10 ~ 12 月期「上昇」超 0.9% → 2020 年 1 ~ 3 月期「低下」超 5.5%)。

業種別にみると、製造業の DI は前期比概ね横這いとなった(2019年10~12月期「低下」超 4.7%  $\rightarrow$  2020年1~3月期同 7.3%)。製造業の交易条件(「販売価格判断 DI」 – 「仕入価格判断 DI」)は前期比 4 ポイント改善した(2019年10~12月期  $\blacktriangle$  16.0%  $\rightarrow$  2020年1~3月期  $\blacktriangle$  12.2%)。

非製造業の DI も前期比 9 ポイント低下した(2019 年  $10 \sim 12$  月期「上昇」超  $5.5\% \rightarrow 2020$  年  $1 \sim 3$  月期「低下」超 3.9%)。非製造業の交易条件は前期比 8 ポイント改善した(2019 年  $10 \sim 12$  月期  $\triangle 24.7\% \rightarrow 2020$  年  $1 \sim 3$  月期  $\triangle 17.0\%$ )。

先行き(2020 年 4 ~ 6 月期)は、製造業は今期から概ね横這い、非製造業は 4 ポイント低下する見通しとなっている。



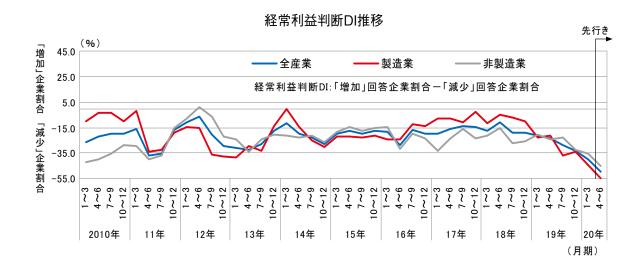
#### (5) 経常利益~製造業は前期比 10 ポイント低下、非製造業は概ね横這い

全産業の経常利益判断 DI は前期比 7 ポイント低下した (2019 年 10 ~ 12 月期「減少」超 33.3%→ 2020 年 1 ~ 3 月期同 39.9%)。

業種別にみると、製造業の DI は前期比 10 ポイント低下した(2019 年 10 ~ 12 月期「減少」 超 34.3%→ 2020 年 1 ~ 3 月期同 44.7%)。

一方、非製造業の DI は前期比概ね横這いとなった (2019 年 10 ~ 12 月期「減少」超 32.6% → 2020 年 1 ~ 3 月期同 35.5%)。

先行き(2020年4~6月期)をみると、全産業で今期から 10 ポイント低下、業種別にみても、製造業、非製造業はともに 10 ポイント低下する見通しとなっている。



#### (6) 経営上の問題点〜製造業、非製造業ともに「売上・受注の停滞・減少」が第1位に

全産業では、「売上・受注の停滞・減少」が52.1%(前期比2.3 ポイント増)と最も多く、「人材難」 が39.8% (同5.5 ポイント減)、「人手不足求人難」が38.6% (同3.2 ポイント増)と続く。

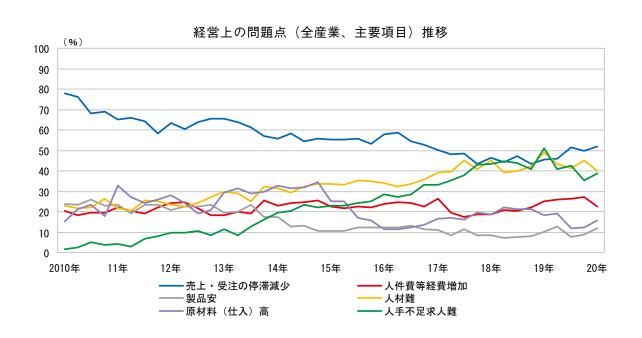
業種別にみると、製造業では「売上・受注の停滞・減少」が55.3% (前期比4.8 ポイント増) と最も多く、「人材難」が34.1%(同11.7ポイント減)、「人手不足求人難」が31.7%(同10.2ポ イント増)と続く。

非製造業は「売上・受注の停滞・減少」が49.3%(前期比 ± 0.0)と最も多く、「人手不足求人難」 (前期比 1.4 ポイント減)と「人材難」(前期比 ± 0.0)が 44.9%と続く。

経営上の問題点(2020年1~3月期)

(%) 売上 そ 人 資 原 人 人 過 立 環 後 理 件 材 手 能力 金 不 化 受注の停滞 費 料 商 不 剰 境 足 等 省 足 材 地 0) 仕 経 ŋ 力 調 求 費 入 化 達 品 悪 人 減 増 不 木 加 足 難 化 高 安 難 難 用 難 顯 難 他 (52.1) (38.6) (39.8) 8.5 13.1 1.2 5.8 15.8 0.8 0.0 1.5 5.8 4.6 産 22.4 12.0 19.5 製造 16.3 7.3 0.0 業 |(55.3)|14.6 0.8 19.5 17.1 (31.7)(34.1)0.8 0.8 5.7 2.4 0.0 素材業種 (70.0)15.0 5.0 10.0 0.0 5.0 25.0 15.0 (40.0) (35.0)0.0 0.0 5.0 5.0 加工業種 |56.1|14.0 22.8 24.6 0.0 7.0 12.3 10.5 (28.1) (36.8)1.8 0.0 0.0 1.8 1.8 その他 (47.8) 15.2 21.7 8.7 2.2 8.7 26.1 26.1 32.6 30.40.0 0.0 0.0 13.0 2.2 非製造業 49.3 2.9 25.0 10.3 1.5 12.5 (44.9) (44.9)0.7 0.0 2.2 5.9 4.4 7.4 建設業 45.2 0.0 25.8 9.7 6.5 3.2 16.1 3.2 61.3 58.10.0 0.0 0.0 6.5 0.0 卸 売 業 59.3 3.7 14.8 7.4 0.0 7.4 29.6 22.2 (37.0) (37.0)0.0 0.0 3.7 0.0 7.4 0.0 小 売 業 68.4 0.0 21.1 15.8 0.0 5.3 10.5 (26.3)(31.6)5.3 0.0 10.5 10.5 運輸·倉庫業 38.5 7.7 30.8 7.7 0.0 0.0 7.7 0.0 61.5 30.80.0 0.0 0.0 23.1 7.7 サービス業 (41.3)  $\boxed{41.3} \boxed{50.0}$ 4.3 30.4 10.9 0.0 4.3 6.5 2.2 0.0 0.0 4.3 2.2 8.7

(注) 項目別回答数 回答企業数



#### 設備投資

#### (1) 2019年10月~2020年3月の実績~全産業では当初計画通りに推移

全産業の実施割合は57.4%と当初計画から横這いとなった。実施割合は5割以上を維持し、中 長期でみても設備投資は底堅く推移している。投資内容をみると、「買替・更新」(33.2%) が最 も多く、次いで「車両・運搬具等」(27.9%)、「新規の導入」(26.7%)となっている。

業種別にみると、製造業の実施割合は64.0%と当初計画を5ポイント上回った。投資内容をみ ると、「新規の導入」(41.6%) と「買替・更新」(41.6%) が最も多く、次いで「車両・運搬具等」 (18.4%) となっている。

非製造業の実施割合は51.4%と当初計画通りを4ポイント下回ったものの、実施割合は5割を 超えている。投資内容をみると、「車両・運搬具等」(36.5%)が最も多く、次いで「買替・更新」 (25.5%)、「改装・改築」(13.9%) となっている。

(%) (当初計画) 新規の導入 買替・更新 工場の新・増設 改装・改築 用地取得 車両·運搬具等 56.6 全 産 業 57.4 26.7 33.2 6.9 14.9 3.4 27.9 7.2 造 業 58.6 64.0 41.641.6 16.0 2.4 18.4 素材業種 76.9 60.0 20.0 70.0 50.0 5.0 25.0 5.0 加工業種 61.8 62.7 42.4 35.6 10.2 11.9 1.7 22.0 その 他 48.8 63.0 37.0 41.3 4.3 17.4 2.2 13.0 非 製 造 業 55.1 51.4 13.1 25.5 6.6 13.9 4.4 36.5建 設 業 60.0 48.4 3.2 6.5 3.2 3.2 9.7 41.9 卸 売 業 64.0 48.1 18.5 29.6 3.7 11.1 3.7 37.0 小 売 業 45.0 52.6 15.8 26.3 15.8 26.3 0.0 36.8 運輸·倉庫業 55.6 50.0 7.1 35.7 7.1 21.4 7.1 429

32.6

6.5

15.2

2.2

30.4

設備投資の実績(2019年10月~2020年3月期)

サービス業 51.7 項目別回答数/回答企業数×100

#### (2) 2020年4~9月の計画~全産業で計画企業割合は5割超を維持する見通し

17.4

55.3

全産業で「計画あり」は 57.4%と今期実績(57.4%)から横這いとなり、計画企業割合は 5 割 を超える見通しとなっている。投資内容は「買替・更新」(33.6%)が最も多く、次いで「車両・ 運搬具等」(29.4%)、「新規の導入」(25.2%) となっている。

製造業で「計画あり」は63.2%と今期実績(64.0%)から横這いとなる見通しである。投資内 容は「買替・更新」(40.8%) が最も多く、次いで「新規の導入」(36.8%)、「車両・運搬具等」(20.8%) と続く。

非製造業で「計画あり」は52.2%と今期実績(51.4%)から横這いとなり、計画企業割合は5 割超となる見通しである。投資内容は「車両・運搬具等」(37.2%) が最も多く、次いで「買替・ 更新」(27.0%)、「新規の導入」(14.6%)となっている。

設備投資の計画(2020年4~9月期)

(%)

			計画あり	今回実績比	新規の導入	買替・更新	工場の新・増設	改装・改築	用地取得	車両・運搬具等
全	産	業	57.4	0.0	25.2	33.6	5.0	14.5	2.7	29.4
製	造	業	63.2	▲ 0.8	36.8	40.8	5.6	16.0	1.6	20.8
	素材意	業 種	70.0	0.0	35.0	50.0	0.0	15.0	0.0	15.0
	加工	業 種	69.5	6.8	47.5	42.4	6.8	15.3	1.7	23.7
	その	他	52.2	<b>▲</b> 10.9	23.9	34.8	6.5	17.4	2.2	19.6
非	製造	業	52.2	0.8	14.6	27.0	4.4	13.1	3.6	37.2
	建設	業	54.8	6.5	12.9	19.4	3.2	12.9	3.2	48.4
	卸 売	業	48.1	0.0	18.5	29.6	3.7	11.1	3.7	37.0
	小 売	業	52.6	0.0	10.5	36.8	5.3	31.6	5.3	31.6
	運輸・倉	庫業	57.1	7.1	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	57.1
	サービ	ス業	51.1	<b>▲</b> 4.3	19.6	30.4	6.5	6.5	4.3	26.1

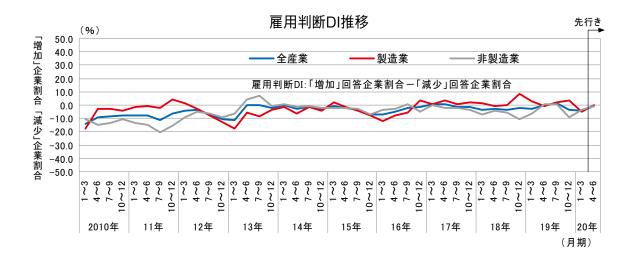
項目別回答数/回答企業数×100

#### 7. 雇用 製造業は9ポイント低下する一方、非製造業は5ポイント上昇

雇用判断 DI は全産業ベースで前期比横這いとなった (2019 年 10 ~ 12 月期「減少」超 3.4% → 2020 年 1 ~ 3 月期同 4.3%)。

業種別にみると、製造業は前期比 9 ポイント低下した(2019 年  $10 \sim 12$  月期「増加」超  $3.8\% \rightarrow 2020$  年  $1 \sim 3$  月期「減少」超 4.8%)。非製造業は前期比 5 ポイント上昇した(2019 年  $10 \sim 12$  月期「減少」超  $9.0\% \rightarrow 2020$  年  $1 \sim 3$  月期同 3.7%)。

先行きは、全産業で「減少」超 0.4%と今期から 4 ポイント上昇する見通しである。業種別では、 製造業は 0.0%と 5 ポイント、非製造業は「減少」超 0.7%と 3 ポイント上昇する見通しである。



### 8. 企業金融

#### (1) 資金繰り状況~製造業、非製造業ともに DI が低下

製造業の資金繰り DI は前期比 3.2 ポイント低下した(2019 年  $10 \sim 12$  月期「苦しくなった」 超  $4.9\% \rightarrow 2020$  年  $1 \sim 3$  月期同 8.1%)。

非製造業の資金繰り DI は前期比 1.3 ポイント低下した(2019 年  $10 \sim 12$  月期「苦しくなった」  $20.9\% \rightarrow 20.20$  年  $1 \sim 3$  月期同 11.2%)。

先行きは、製造業で「苦しくなった」超 12.5%と今期から 4.4 ポイント、非製造業は同 13.6%と 2.4 ポイント低下する見通しとなっている。

		2016		20	17			20	18			20	19			2020	
		10~12	1~3	$4\sim6$	7~9	10~12	1~3	$4\sim6$	7~9	10~12	1~3	$4\sim6$	7~9	10~12	1~	3	4~6予測
製	DΙ	<b>▲</b> 4.5	<b>▲</b> 1.6	<b>▲</b> 1.9	<b>▲</b> 7.8	<b>▲</b> 7.6	<b>▲</b> 4.9	▲ 5.7	<b>▲</b> 4.3	▲ 0.7	<b>▲</b> 6.0	▲ 0.9	<b>▲</b> 7.4	<b>▲</b> 4.9	▲ 8.1 (	<b>5</b> .2)	▲ 12.5
造	楽	7.8	9.7	6.8	5.8	6.2	6.3	7.0	7.8	8.9	5.2	5.6	4.7	6.8	4.1	(8.3)	4.5
甩	変わらない	77.9	77.9	82.0	79.2	77.2	79.7	79.1	78.0	78.8	83.6	88.0	83.2	81.6	83.7	(78.1)	78.6
業	苦	12.3	11.3	8.7	13.6	13.8	11.2	12.7	12.1	9.6	11.2	6.5	12.1	11.7	12.2	(13.5)	17.0
非	DΙ	▲ 5.6	▲ 8.8	▲ 2.0	▲ 3.8	▲ 3.1	▲ 5.1	<b>▲</b> 1.4	<b>▲</b> 7.4	<b>▲</b> 4.8	▲ 9.8	▲ 0.8	<b>▲</b> 5.2	▲ 9.9	<b>▲</b> 11.2 (	4.0)	▲ 13.6
製	楽	6.1	4.4	9.2	7.9	8.7	6.2	7.5	6.4	4.7	4.4	6.7	5.3	3.0	2.2	(6.3)	2.4
造	変わらない	80.3	76.9	77.7	78.0	78.5	80.5	81.8	77.5	82.1	81.4	85.8	84.2	84.1	84.3	(83.3)	81.6
業	苦	11.7	13.2	11.2	11.7	11.8	11.3	8.9	13.8	9.5	14.2	7.5	10.5	12.9	13.4	(10.3)	16.0

資金繰りの動き

(括弧内は前期の予測、前四半期比較、%ポイント)

#### (2) 資金繰り上の問題点〜製造業、非製造業ともに「売上減少・伸び悩み」が第1位

全産業では、「売上減少・伸び悩み」が 63.2% (前期比 4.8 ポイント増) と最も多く、次いで「設備資金増加」が 27.1% (同 5.2 ポイント減)、「採算悪化」が 26.3% (同 6.4 ポイント増)となっている。製造業をみると、「売上減少・伸び悩み」が 61.0% (前期比 1.0 ポイント増)と最も多く、次いで「設備資金増加」が 32.2% (同 3.8 ポイント減)、「採算悪化」が 28.0% (同 4.0 ポイント増)となっている。非製造業も「売上減少・伸び悩み」が 65.1% (前期比 8.0 ポイント増) と最も多く、次いで「採算悪化」が 24.8% (同 8.1 ポイント増)、「設備資金増加」が 22.5% (同 6.9 ポイント減)となっている。

						貝亚	深り工		<b>退</b> 从						(%)
			設	運	回	支	資	在	売	採	在	既	借	季	そ
			備	転	収	払	金		上減		庫	往借	入	節	
			資	資	サイ	サ	調	庫	少	算	0)	入金	枠 に	資	
			金	金	, ,	イ	達	\ \text{III}	伸		積	の	余	金	の
			増	増	長	<u>۱</u>	困	過	び	悪	み	返洛	裕	(D)	
				_	期	短	-	at it	悩	n.	増、	済負担	な	増	61.
			加	加	化	縮	難	剰	み	化	L	担	L	大	他
全	産	業	27.1	18.2	6.1	3.6	3.2	8.1	63.2	26.3	1.6	6.9	4.0	2.4	10.9
製	造	業	32.2	14.4	1.7	2.5	4.2	10.2	61.0	28.0	2.5	5.9	6.8	3.4	10.2
素	材 業	種	21.1	0.0	5.3	5.3	0.0	10.5	$\overline{(73.7)}$	$\boxed{42.1}$	5.3	0.0	0.0	5.3	15.8
加	工 業	種	35.2	24.1	1.9	3.7	3.7	13.0	64.8	16.7	1.9	9.3	7.4	1.9	5.6
そ	Ø	他	33.3	8.9	0.0	0.0	6.7	6.7	51.1	35.6	2.2	4.4	8.9	4.4	13.3
非	製 造	業	22.5	21.7	10.1	4.7	2.3	6.2	65.1	24.8	0.8	7.8	1.6	1.6	11.6
建	設	業	7.1	25.0	14.3	0.0	7.1	0.0	64.3	35.7	0.0	3.6	0.0	0.0	10.7
卸	売	業	18.5	(18.5)	14.8	7.4	0.0	11.1	(74.1)	25.9	3.7	3.7	0.0	0.0	11.1
小	売	業	22.2	16.7	0.0	5.6	0.0	11.1	66.7	33.3	0.0	22.2	5.6	0.0	11.1
運	輸・倉 庫	業	50.0	21.4	7.1	14.3	0.0	0.0	64.3	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サ	ービス	業	(26.2)	23.8	9.5	2.4	2.4	7.1	(59.5)	19.0	0.0	9.5	2.4	4.8	16.7

資全繰り上の問題占

(0/

(注) 項目別回答数

回答企業数

#### (3) 資金調達~製造業で「難しくなった」超幅が縮小する一方、非製造業では拡大

借入難易度判断 DI をみると、長期資金、短期資金ともに製造業で「難しくなった」超幅が縮小した一方、非製造業で「難しくなった」超幅が拡大した。先行きは、長期資金、短期資金ともに製造業、非製造業で「難しくなる」超幅が今期から拡大する見通しとなっている。

#### 借入難易度判断 DI

	_		2016		20	17			20	18			20	19			2020	
1			10~12	$1 \sim 3$	$4 \sim 6$	$7 \sim 9$	$10\sim12$	$1 \sim 3$	$4 \sim 6$	7~9	$10 \sim 12$	1~3	$4 \sim 6$	$7 \sim 9$	10~12	1 ~	3	4~6予測
	#HI	DΙ	▲ 3.4	1.5	▲ 0.6	<b>▲</b> 3.9	<b>▲</b> 2.1	<b>▲</b> 3.5	<b>▲</b> 3.2	0.0	<b>▲</b> 2.7	<b>▲</b> 4.6	<b>▲</b> 4.7	<b>▲</b> 2.9	<b>▲</b> 4.9	<b>▲</b> 4.2	( <b>A</b> 6.3)	<b>▲</b> 9.0
1	製	楽	2.7	4.1	1.9	1.3	4.8	0.7	4.4	5.0	2.1	1.5	2.8	1.9	1.0	1.7	(1.0)	2.7
長	造業	変わらない	88.4	91.8	93.2	90.9	84.8	91.6	84.8	87.9	88.4	92.4	89.6	93.3	93.1	92.4	(91.7)	85.6
期	*	難	6.1	2.6	2.5	5.2	6.9	4.2	7.6	5.0	4.8	6.1	7.5	4.8	5.9	5.9	(7.3)	11.7
長期資金	非	DΙ	▲ 0.9	<b>▲</b> 1.1	2.5	1.8	1.1	<b>▲</b> 0.5	▲ 0.9	3.7	<b>▲</b> 2.6	<b>▲</b> 1.5	▲ 0.8	<b>▲</b> 2.8	<b>▲</b> 2.4	<b>▲</b> 5.5	( <b>△</b> 0.9)	▲ 8.2
金	非製	楽	5.6	3.3	7.8	6.5	6.7	5.1	4.7	6.0	3.7	4.8	4.0	3.4	1.6	2.3	(3.3)	1.7
1	造業	変わらない	79.9	79.7	77.2	78.0	84.1	82.6	80.8	78.9	79.5	88.9	91.2	90.3	94.4	89.8	(92.5)	88.4
	業	難	6.5	4.4	5.3	4.7	5.6	5.6	5.6	2.3	6.3	6.3	4.8	6.2	4.0	7.8	(4.2)	9.9
	#11	DΙ	<b>▲</b> 2.8	1.5	▲ 0.6	<b>▲</b> 3.3	0.7	<b>▲</b> 2.8	<b>▲</b> 2.5	<b>▲</b> 1.5	▲ 3.4	▲ 3.8	<b>▲</b> 2.8	<b>▲</b> 3.8	▲ 3.0	<b>▲</b> 2.5	(0.0)	<b>▲</b> 7.2
1	製	楽	2.0	3.6	1.9	1.9	5.5	0.7	3.8	3.5	2.1	1.5	3.8	1.9	2.0	2.5	(3.1)	3.6
毎	造業	変わらない	90.5	92.3	93.2	90.3	86.2	92.3	86.7	89.4	87.0	93.1	89.6	92.4	93.1	92.4	(93.8)	85.6
短期	- X	難	4.8	2.1	2.5	5.2	4.8	3.5	6.3	5.0	5.5	5.3	6.6	5.7	5.0	5.0	(3.1)	10.8
資金	非	DΙ	<b>▲</b> 1.0	0.0	2.9	0.5	1.6	0.0	<b>▲</b> 0.5	4.1	<b>▲</b> 1.6	▲ 3.1	0.8	<b>▲</b> 2.1	▲ 3.2	<b>▲</b> 4.7	( <b>1</b> .7)	▲ 6.6
金	製	楽	5.1	3.3	7.8	5.6	6.2	5.1	5.1	6.4	4.2	4.2	4.0	2.8	1.6	1.6	(2.5)	1.7
1	造業	変わらない	81.8	81.9	78.6	78.5	85.6	84.1	81.8	80.3	80.0	88.5	92.9	92.4	93.6	92.1	(93.2)	90.0
$\Box$	業	難	6.1	3.3	4.9	5.1	4.6	5.1	5.6	2.3	5.8	7.3	3.2	4.9	4.8	6.3	(4.2)	8.3

楽=楽+やや楽、難=難+やや難

(括弧内は前期の予測、前四半期比較、%ポイント)

〈業種・規模別回答社数〉

	同なた払業を		企業規		数) 別	
	回答社数	30人未満	30~99人	100~299人	300人以上	不 明
全産業	263	86	91	48	34	4
製造業	125	28	50	27	18	2
素 材 型	20	3	5	6	6	0
加工型	58	11	25	15	6	1
その ft	47	14	20	6	6	1
非製造業	138	58	41	21	16	2
建設業	31	20	7	4	0	0
卸 売 業	<b>27</b>	7	13	4	3	0
小売業	19	6	5	2	5	1
運輸・倉庫第	14	5	6	1	2	0
サービス第	47	20	10	10	6	1

#### (注) DI (ディフュージョン・インデックス)

ここでは、「増加・好転・上昇」割合から「減少・悪化・低下」割合を マイナスした数値をあらわしています。

#### 各業種内の構成

173	長性内の1	件队					
		パ	ル	フ	٠.	紙	包装・梱包紙、事務用紙など
	丰朴杂铢	化				学	容器、フィルム、医薬、塗料、機能化学品、建設材料、電子材料など
製	素材業種	鉄				鋼	鉄筋、鋼管、製鋼原料、自動車用原料など
		そ		の		他	非鉄金属 (銅、アルミ部品)、繊維 (寝具、婦人服、紳士服)、石油・石炭など
		金	属	į	製	品	機械器具、工具、住宅資材、食品容器、金型、鉄骨など
浩	加工業籍	はん	甲・生産	産用・	業務用	機械	工作機械、土木機械、事務機械、産業機械など
洹	加工業種	電	気	7	機	械	重電、電子機器、自動車用電気機械、家電、通信機器など
		輸	送		機	械	乗用車関連、貨物関連など
		食				料	飲料、麺、肉、水産加工品、酒、惣菜、納豆、農産加工品など
業	その他	木	材・	木	製	品	木材など
	そり他	窯	業		土	石	コンクリート、石材、墓石、建材、砕石など
		そ		の		他	印刷など
		建		設		業	建築、土木など
		卸		売		業	食料品、青果、水産物、産業用機材 (運輸機材、包装資材、電設資材) など
非	製造業	小		売		業	総合小売、自動車ディーラー、食品、衣料、燃料、宝飾、家具など
		運	輸·	倉	庫	業	物流、倉庫、旅客など
		サ	_	ビ	ス	業	宿泊、測量、介護、情報処理、不動産、リース、人材など